

電 力 情 報

NO. 67

平成25年2月26日

東 北 電 力 (株)

1月分の電力需給実績について

1. 電力需要について（表－1 参照）

1月分の販売電力量は、78億2,100万kWh、対前年比103.7%の実績となりました。大口電力における稼働減少の影響などがあるものの、前年と比較して検針期間が長かったことや低気温による暖房需要の増加などから、11カ月連続で前年実績を上回りました。

用途別の実績については、以下のとおりです。

なお、東日本大震災の影響で、前年度は販売電力量が減少しておりますので、ご参考として前々年度との比較も表－1に掲載しております。

○特定規模需要以外の需要（自由化対象以外のお客さま）

電灯は、前年と比較して検針日数が長かったことや低気温による暖房需要の増加のほか、震災復興の動きもあり、対前年比107.8%の実績となり、6カ月連続で前年実績を上回りました。

特定規模需要以外の需要の合計では、対前年比107.4%の実績となりました。

○特定規模需要（自由化対象のお客さま）

業務用電力は、東日本大震災による前年の落ち込みからの回復や、低気温による暖房需要の増加などにより、対前年比104.8%の実績となり、11カ月連続で前年実績を上回りました。

特定規模需要の合計では、対前年比100.7%の実績となりました。

なお、産業用その他電力については、大口電力が大きなウエートを占めており、その概要は以下の参考のとおりです。

[参 考]

○大口電力

大口電力は、輸出関連企業を中心に稼働減少の動きがみられたことなどから、対前年比97.6%の実績となり、3カ月連続で前年実績を下回りました。

2. 供給力について（表－2 参照）

1月の発電電力量の合計は、83億7,100万kWhと、対前年比101.1%の実績となり、12カ月連続で前年実績を上回りました。

なお、東日本大震災の影響で、前年度は発電電力量が減少しておりますので、ご参考として前々年度との比較も表－2に掲載しております。

（自社水力）

出水率88.4%の湯水となりましたが、前年の出水率を上回ったことから、発電量は前年を7,800万kWh上回る3億8,200万kWhとなりました。

（自社火力）

電力需要の増加などに伴う前年との運転状況の違いから、発電量は前年を2億4,700万kWh上回る57億3,200万kWhとなりました。

（自社原子力）

定期検査により、女川原子力発電所の全号機と東通原子力発電所1号機が運転を停止していることから、発電量はありませんでした。

（自社新エネルギー等）

地熱発電所の前年との運転状況の違いから、発電量は前年を2,100万kWh下回る7,500万kWhとなりました。

（他社受電）

電力需要の増加などに伴う前年との運転状況の違いから、他社受電合計では前年を2億2,200万kWh上回る24億3,800万kWhとなりました。

以上